

2008年(平成20年)

9月27日 土曜日

参加も子ども 防災学ぶ

宮坂建設 訓練実演や展示

宮坂建設工業(本社帯広、宮坂寿文社長)は26日、帯広市内の中央公園などで防災訓練を行った。訓練の実演、防災機器、グッズの展示、河川などのパトロールを展開した。

帯広市内と支店のある札幌市内で実施し、同公園がメイン会場となった。同社は1993年から取り組みを始め、2003年から地域住民に参加を呼び掛ける公開型として



子供たちも参加した防災訓練

いる。約800人が同公園に会場した。帯広では震度5強を想定して河川、橋梁(きょうりょう)や、建築物などのパトロールを実施、帯広工業高と柏小の生徒・児童、計約140人も参加した。土のうを作り積み上げる水防訓練の見学、被災状況を確認する空中撮影システムの実演、市消防本部による消火訓練などが行われ、

来場者は防災への認識を深めた。炊き出し訓練では豚汁などが来場者に振る舞われた。同社の山田治常務は「公開型の訓練を通し、災害時に重要な地域との結び付きを深めたい」と話していた。同社は93年以降、災害時に自社による警戒本部を36回設置しているほか、災害に伴う河川や国道への復旧出動も8回行ってきた。(丸山一樹)